

平成22年度
(2010年度)

港区予算概要

一般会計
国民健康保険事業会計
老人保健医療会計
後期高齢者医療会計
介護保険会計

港区

<新規・臨時・レベルアップの説明>

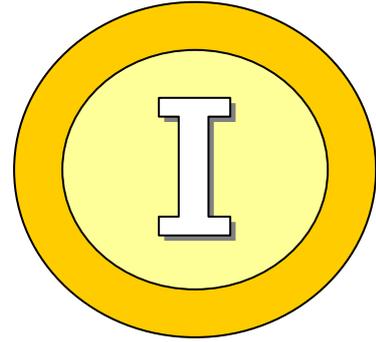
新規	22年度から新たに行う事業
臨時・新規	22年度から新たに行う臨時的な事業(※)
臨時・継続	21年度以前から行っている臨時的な事業(※) ※単年度または数年度に限り臨時的に行う事業
レベルアップ	21年度以前から行っている事業で内容を充実・拡大する事業

計数については、原則として表示単位未満を四捨五入し、端数調整をしていないため、合計等と一致しない場合があります。

目 次

I	平成 22 年度予算の概要	1
1	平成 22 年度予算の概要（全体像）	2
2	最重点施策の取組み	4
3	港区基本計画事業の着実な実施	8
4	将来を見据えた財政運営	9
	（1）区財政の状況	9
	（2）基金の有効活用	11
II	最重点施策	13
1	安全で安心して暮らせるまち	14
	（1）不況に負けない地域経済の支援	14
	（2）緊急就労支援の充実	18
	（3）災害に強い良質なまちづくり	20
2	生涯を通じて健やかにすごせるまち	25
	（1）子育て支援と教育環境の充実	25
	（2）高齢者や障害者の生活環境の充実	31
	（3）区民の元気と健康の増進	34
3	都心の魅力があふれるまち	37
	（1）参画と協働による地域の活性化	37
	（2）共生による新たな地域文化や魅力の創出	41
	（3）都心区における先進的な環境対策の推進	42
III	財政規模	45
1	総括	46
2	一般会計	47
	（1）歳入	47
	（2）目的別歳出	48
	（3）性質別歳出	49
3	国民健康保険事業会計	50
4	老人保健医療会計	51
5	後期高齢者医療会計	52

6	介護保険会計	53
IV	参考資料	55
1	新規・臨時・レベルアップ事業一覧	56
2	新規補助金一覧	61
3	平成 22 年度予算編成方針	62



平成 22 年 度
予 算 の 概 要

平成22年度予算の概要（全体像）

【地域の元気と区民生活の安心をより確かなものにするための予算】

予算編成の基本方針

- 1 区民の参画と協働の取組みをより一層定着・発展させ、各種事業について、区民一人ひとりのライフステージに応じたきめ細かなサービスとなるよう、区民生活の実情を的確に把握し、区民の視点に立って創意工夫するとともに、区民生活のすみずみまで目の行き届いた、都心・港区ならではの質の高い行政サービスを提供します。
- 2 新規事業については、事業の必要性・効果性・効率性を見極め、中期的な事業目標を立てた上で予算化します。また、すべての既存事業について、根本に立ち返りあらためて必要性・効果性・効率性の観点から徹底した見直しを進めます。
- 3 港区基本計画（分野別計画及び地区版計画書）に計上する事業を効果的かつ着実に推進できるよう予算化します。
- 4 区民の安全・安心の確保を最優先事項とし、区有施設や各種行政サービスの安全・安心の確保策に引き続き取り組みます。

港区基本計画事業の着実な実施

分野別計画	内容	事業数	予算額
分野別計画	◇かがやくまち（街づくり・環境）	34 事業	62 億 1,467 万円
	◇にぎわうまち（コミュニティ・産業）	7 事業	9 億 6,514 万円
	◇はぐくむまち（福祉・保健・教育）	32 事業	107 億 6,791 万円
地区版計画書	芝地区版計画書	11 事業	5,202 万円
	麻布地区版計画書	12 事業	4,774 万円
	赤坂地区版計画書	6 事業	5,287 万円
	高輪地区版計画書	11 事業	5,035 万円
	芝浦港南地区版計画書	9 事業	4,612 万円
◇実現をめざして		6 事業	4 億 754 万円
計		128 事業	186 億 435 万円

将来を見据えた財政運営

厳しい社会経済情勢が続く中、21年度に続き、これまで蓄えてきた財政の力を活用して、緊急就労支援や区民の安全安心確保のための施策をはじめ、高齢者施策や子育て支援、環境対策などに取り組み、区民福祉の向上のための施策を積極的に推進します。

一方、先行き不透明な社会経済情勢を踏まえ、すべての事務事業について、根本に立ち返り徹底した見直しを実施するとともに、人件費の圧縮や経常経費の節減等に積極的に取り組み、施設建設にあたっては、後年度負担にも十分配慮するなど、内部努力を徹底しました。

今後も、引き続き歳入の確保に努めるとともに、簡素で効率的な区政運営を

総額
1,433億
7,141万円



国民健康保険事業会計
195億3,399万円

老人保健医療会計
3,891万円

後期高齢者医療会計
39億8,861万円

介護保険会計
112億8,989万円

最重点施策

平成22年度予算のポイント

1 安全で安心して暮らせるまち

(1) 不況に負けない地域経済の支援

- 企業間連携交流会・分科会
- 新製品・新技術開発支援
- 事業承継セミナー
- ビジネス展示会・交流会
- 就職面接会参加企業採用助成
- 産業デザイン活用支援
- 商工相談
- 融資事業

(2) 緊急就労支援の充実

- 緊急就労支援（就職面接会の開催）
- 緊急不況対策臨時職員雇用（若者向け就業体験）
- 福祉のしごと面接・相談会
- 介護体験事業
- 喫煙マナーアップ啓発
- 保護樹木台帳整理

(3) 災害に強い良質なまちづくり

- 緊急地震速報装置の整備
- 高輪橋架道橋下区道整備
- 防災まちづくり整備指針改定
- マンホールトイレ整備
- 環状2号線周辺のまちづくり
- 夕凧橋架替
- 田町駅東口北地区公共公益施設整備
- 高層住宅等の震災対策

5頁・14頁参照

2 生涯を通じて健やかにすごせるまち

(1) 子育て支援と教育環境の充実

- 子どもの遊び場づくり
- 児童遊園整備
- 小中一貫校の設置等
- 子ども中高生プラザ等建設
- 待機児童解消特別事業
- 魅力ある校舎・園舎等の整備
- 障害児夏季休業日等支援
- 子育てひろば等事業
- 中学校特別支援学級運営

(2) 高齢者や障害者の生活環境の充実

- いきいきプラザ移行準備
- 介護事業者連絡協議会支援
- 高齢者等紙おむつ給付
- 発達支援センター機能検討
- 高次脳機能障害理解促進
- 障害者施設等運営支援

(3) 区民の元気と健康の増進

- みなと保健所改築
- 暫定健診施設維持管理
- 周産期医療・小児医療連携協議会
- 在宅緩和ケア支援
- 都市計画公園の整備
- 学校プール開放事業

6頁・25頁参照

3 都心の魅力があふれるまち

(1) 参画と協働による地域の活性化

- 各地区総合支所地域事業
- 仮称政策創造研究所の設置
- 港区基本計画改定
- アンカレイジ展望室等活用事業
- お台場ふるさとの海づくり

(2) 共生による新たな地域文化や魅力の創出

- 外国人向けウェルカムパックの作成
- 行政情報多言語化の基準策定等
- 観光ボランティア育成
- 大使館等連携検討調査
- 港区観光振興ビジョン策定
- 観光振興事業

(3) 都心区における先進的な環境対策の推進

- みどりの活動員活動支援
- みなとモデル森林整備促進事業
- 一般廃棄物処理基本計画策定
- 建築物低炭素化ガイドライン策定
- カーボン・オフセットイベント普及啓発
- 緑と水の総合計画策定
- 区有施設省エネルギー化
- みなとタバコルール推進

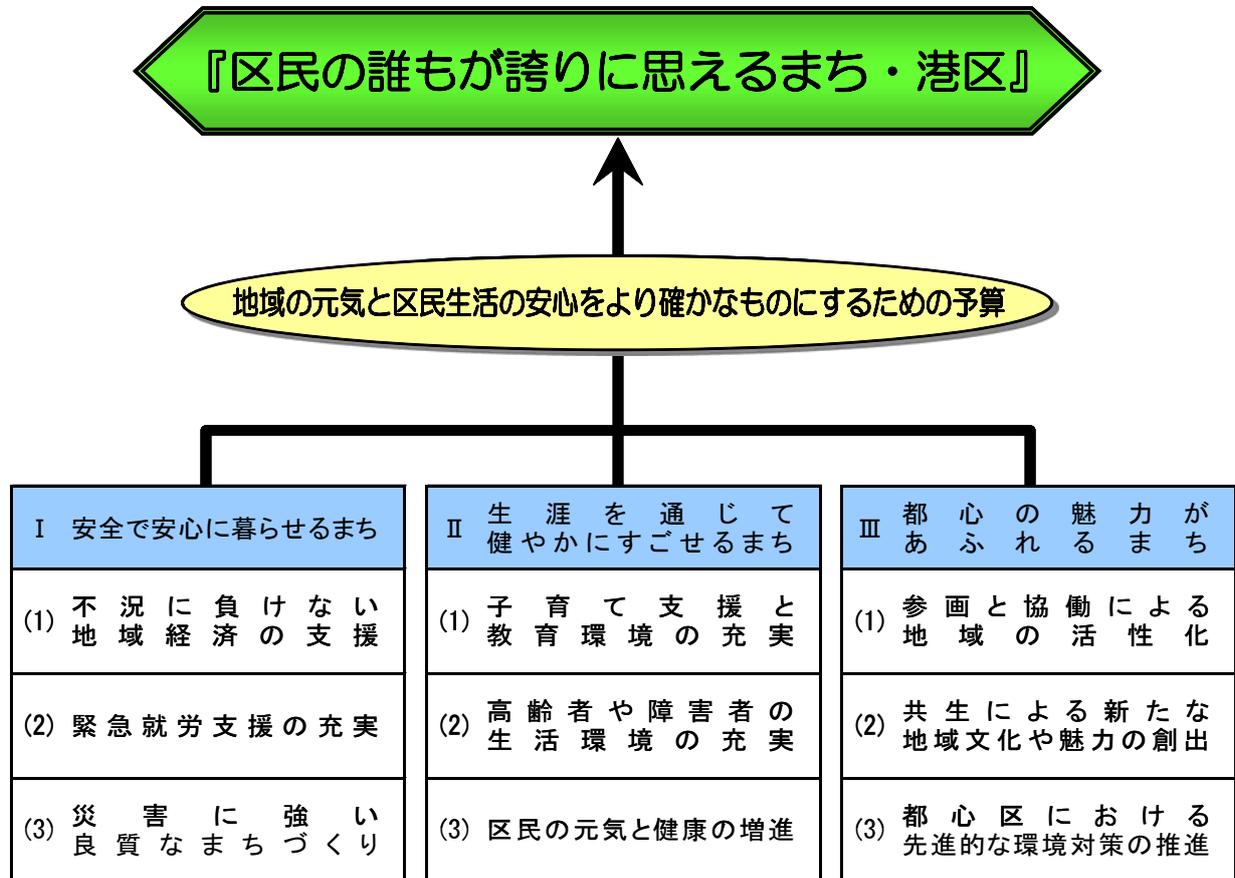
7頁・37頁参照

2 最重点施策の取組み

区は、『区民の誰もが誇りに思えるまち・港区』の実現を掲げ、区民に信頼され、区民の身近にあって、区民の誇りを創造する区政運営を基本姿勢とし、『人にやさしい創造的な地域社会』の実現を目指します。

平成22年度予算は、厳しい社会経済情勢下において、これまで蓄えてきた財政の力を活用し、緊急経済対策や区民の安全安心確保のための施策など、区民福祉の向上を積極的に推進し、地域の元気と区民生活の安心をより確かなものにするための予算として編成しました。

また、特に早急に取り組む必要がある施策として「安全で安心に暮らせるまち」、「生涯を通じて健やかにすごせるまち」、「都心の魅力があふれるまち」の3つの施策を最重点施策と位置づけ、111事業、217億8,404万円を計上しました。



I 安全で安心に暮らせるまち

39事業 4,474,492千円

(1) 不況に負けない地域経済の支援	13事業	2,101,448	
企業間連携交流会・分科会	[産業振興課]	【新規】	4,082
新製品・新技術開発支援	[産業振興課]	【新規】	12,480
事業承継セミナー	[産業振興課]	【新規】	460
中小企業事業継続計画(BCP)等策定支援	[産業振興課]	【新規】	1,103
中小企業ワーク・ライフ・バランス支援	[産業振興課]	【新規】	1,298
商店街事業広告支援	[産業振興課]	【新規】	1,368
ビジネス展示会・交流会	[産業振興課]	【臨継】	8,470
就職面接会参加企業採用助成	[産業振興課]	【臨継】	1,200
港区ものづくり・商業観光フェアの開催	[産業振興課]	【臨継】	27,409
消費者問題推進員の育成	[産業振興課]	【レベル】	145
産業デザイン活用支援	[産業振興課]	【レベル】	10,632
商工相談	[産業振興課]	【レベル】	10,010
融資事業	[産業振興課]	【レベル】	2,022,791
(2) 緊急就労支援の充実	9事業	139,271	
保護樹木台帳整理	[芝・麻布・赤坂・高輪協働推進課]	【臨新】	2,347
福祉のしごと面接・相談会	[介護保険担当]	【臨新】	214
介護体験事業	[介護保険担当]	【臨新】	241
喫煙マナーアップ啓発	[環境課]	【臨新】	26,939
遺跡出土遺物の再整理	[図書・文化財課]	【臨新】	4,618
緊急就労支援(就職面接会の開催)	[産業振興課]	【臨継】	33,306
住宅手当緊急特別措置事業	[生活福祉調整担当]	【臨継】	35,657
ホームヘルパー2級養成研修受講助成	[介護保険担当]	【臨継】	1,500
待機児童解消特別事業(緊急暫定保育室運営)	[子ども課]	【臨継】	注2 544,171
緊急不況対策臨時職員雇用(若者向け就業体験)	[人事課]	【臨継】	34,449
(3) 災害に強い良質なまちづくり	17事業	2,233,773	
緊急地震速報装置の整備	[防災課]	【新規】	20,300
高輪橋架道橋下区道整備	[都市計画課]	【臨新】	8,875
六本木・虎ノ門地区基盤整備等方針策定	[都市計画課]	【臨新】	7,245
建築物現況調査	[都市計画課]	【臨新】	6,687
防災街づくり整備指針改定	[都市計画課]	【臨新】	7,288
区営住宅建替検討	[住宅担当]	【臨新】	9,519
マンホールトイレ整備	[防災課]	【臨継】	22,685
業務継続計画(BCP)の検証	[防災課]	【臨継】	5,700
新規コミュニティバス実証運行	[都市計画課]	【臨継】	358,493
環状2号線周辺のまちづくり	[開発指導課]	【臨継】	8,925
景観形成特別地区屋外広告物適正化支援	[都市施設管理課]	【臨継】	156,210
電線類地中化整備	[土木事業課]	【臨継】	353,886
夕風橋架替	[土木事業課]	【臨継】	190,956
田町駅東口北地区公共公益施設整備	[芝浦港南地区施設整備担当]	【臨継】	1,031,132
駅周辺滞留者対策訓練の実施	[防災課]	【レベル】	20,822
高層住宅等の震災対策	[防災課]	【レベル】	8,052
繁華街の安全対策	[防災課]	【レベル】	16,998

注) 1 臨新=臨時・新規、臨継=臨時・継続、レベル=レベルアップ

2 待機児童解消特別事業(緊急暫定保育室運営)は、P6の一部の再掲のため、事業数及び予算額の合計に含みません。

II 生涯を通じて健やかにすごせるまち

43事業 16,560,411千円

(1) 子育て支援と教育環境の充実		21事業	13,166,467	P25 ～
子ども手当・児童手当	[子ども課]	【新規】	3,526,271	
子どもの遊び場づくり	[都市計画課]	【新規】	376	
港陽中学校通学区域小中一貫校の設置	[庶務課・学務課]	【新規】	256,022	
児童遊園整備	[土木事業課]	【臨新】	38,942	
新たな国際化対応教育の推進	[庶務課]	【臨新】	4,304	
芝地区子ども中高生プラザ等建設	[芝管理課]	【臨継】	502,904	
芝公園保育園等改築	[芝管理課]	【臨継】	19,164	
麻布地区子ども中高生プラザ等建設	[麻布管理課]	【臨継】	92,809	
高輪地区子ども中高生プラザ等建設	[高輪管理課]	【臨継】	387,062	
仮称三田四丁目保育園建設	[高輪管理課]	【臨継】	21,164	
芝浦港南地区子ども中高生プラザ等建設	[芝浦港南管理課]	【臨継】	553,331	
待機児童解消特別事業	[子ども課]	【臨継】	1,334,566	
魅力ある校舎・園舎等の整備	[庶務課]	【臨継】	5,651,000	
朝日中学校通学区域小中一貫校建設	[庶務課]	【臨継】	86,778	
新教育センター整備	[庶務課]	【臨継】	208,589	
麻布図書館等整備	[図書・文化財課]	【臨継】	73,191	
放課後児童健全育成	[子ども課]	【レベル】	17,666	
障害児夏季休業日等支援	[子ども課]	【レベル】	6,510	
子育てひろば等事業	[子ども課]	【レベル】	127,789	
中学校特別支援学級運営	[学務課・指導室]	【レベル】	28,349	
学校情報教育推進	[学務課]	【レベル】	229,680	
(2) 高齢者や障害者の生活環境の充実		14事業	2,227,328	P31 ～
発達支援センター機能検討	[障害者福祉課]	【新規】	2,341	
高次脳機能障害理解促進	[障害者福祉課]	【新規】	650	
いきいきプラザ移行準備	[高齢者支援課]	【臨新】	104,441	
介護事業者連絡協議会支援	[介護保険担当]	【臨新】	481	
地域保健福祉計画等改定	[保健福祉課・高齢者支援課・障害者福祉課]	【臨新】	30,414	
西麻布福祉会館等改築	[麻布管理課]	【臨継】	96,690	
高輪福祉会館等改築	[高輪管理課]	【臨継】	1,264,220	
特別養護老人ホーム白金の森改修	[高齢者支援課]	【臨継】	411,188	
公衆浴場助成	[保健福祉課]	【レベル】	36,842	
港区シルバー人材センター支援	[高齢者支援課]	【レベル】	92,392	
高齢者等紙おむつ給付	[高齢者支援課]	【レベル】	129,305	
介護人材育成支援事業	[介護保険担当]	【レベル】	6,464	
障害者施設等運営支援	[障害者福祉課]	【レベル】	11,921	
障害者就労支援	[障害者福祉課]	【レベル】	39,979	
(3) 区民の元気と健康の増進		8事業	1,166,616	P34 ～
スポーツ振興施策の推進	[生涯学習推進課]	【臨新】	2,673	
国民体育大会の準備	[生涯学習推進課]	【臨新】	1,181	
みなと保健所改築	[生活衛生課]	【臨継】	405,753	
暫定健診施設維持管理	[保健予防課]	【臨継】	50,782	
周産期医療・小児医療連携協議会	[保健予防課]	【臨継】	931	
在宅緩和ケア支援	[健康推進課]	【臨継】	16,930	
都市計画公園の整備	[土木事業課]	【臨継】	542,868	
学校プール開放事業	[生涯学習推進課]	【レベル】	145,498	

注) 臨新=臨時・新規、臨継=臨時・継続、レベル=レベルアップ

Ⅲ 都心の魅力があふれるまち

29事業

749,141千円

(1) 参画と協働による地域の活性化		12事業	542,956	P37 ～
芝地区総合支所地域事業	[芝管理課・芝協働推進課]		52,015	
麻布地区総合支所地域事業	[麻布管理課・麻布協働推進課]		47,736	
赤坂地区総合支所地域事業	[赤坂協働推進課]		56,871	
高輪地区総合支所地域事業	[高輪管理課・高輪協働推進課]		50,353	
芝浦港南地区総合支所地域事業	[芝浦港南管理課・芝浦港南協働推進課・芝浦港南区民課]		69,029	
お台場ふるさとの海づくり	[芝浦港南協働推進課]	【新規】	10,905	
仮称政策創造研究所の設置	[企画課]	【新規】	5,812	
南青山二丁目公共施設建設	[赤坂協働推進課]	【臨新】	34,486	
高輪地区総合支所エレベーター増設	[高輪管理課]	【臨新】	154,237	
港区基本計画(地区版計画書)改定	[各地区協働推進課]	【臨新】	35,971	
港区基本計画改定	[企画課]	【臨新】	17,035	
アンケート・展望室等活用事業	[企画課]	【臨継】	8,506	
(2) 共生による新たな地域文化や魅力の創出		6事業	28,051	P41 ～
外国人向けウェルカムパックの作成	[地域振興課]	【新規】	5,583	
行政情報多言語化の基準策定等	[地域振興課]	【新規】	2,745	
観光ボランティア育成	[産業振興課]	【新規】	987	
大使館等連携検討調査	[地域振興課]	【臨新】	5,628	
港区観光振興ビジョン策定	[産業振興課]	【臨新】	3,411	
観光振興事業	[産業振興課]	【レベル】	9,697	
(3) 都心区における先進的な環境対策の推進		11事業	178,134	P42 ～
みどりの活動員活動支援	[環境課]	【新規】	817	
みなとモデル森林整備促進事業	[環境課]	【新規】	22,240	
一般廃棄物処理基本計画策定	[清掃リサイクル課]	【臨新】	4,491	
建築物低炭素化ガイドライン策定	[環境課]	【臨新】	3,795	
カーボン・オフセットイベント普及啓発	[環境課]	【臨新】	1,350	
資源化センター等機能再編整備	[清掃リサイクル課]	【臨継】	11,635	
緑と水の総合計画策定	[都市計画課]	【臨継】	7,424	
有栖川宮記念公園自然環境回復プロジェクト	[環境課]	【臨継】	17,224	
田町駅東口北地区公共施設等低炭素化計画推進	[環境課]	【臨継】	5,682	
区有施設省エネルギー化	[環境課]	【臨継】	90,384	
みなとタバコルール推進	[環境課]	【レベル】	13,092	

注) 臨新=臨時・新規、臨継=臨時・継続、レベル=レベルアップ

3 港区基本計画事業の着実な実施

厳しい社会経済情勢の中にあっても、これまで蓄えてきた財政の力を活用して港区基本計画の計画事業を着実に実施し、港区ならではの質の高い行政サービス

○ 平成22年度計画事業

分野別計画及び地区版計画書の施策を、次のとおり予算化しました。

基本計画上の位置づけ			事業数	事業費
分野別計画	Ⅰ かがやくま	都心の活力と安全・安心・快適な暮らしを支えるまちをつくる	24事業	58億 7,249万円
		環境にやさしい都心をみなで考えつくる	10事業	3億 4,218万円
		合計	34事業	62億 1,467万円
	Ⅱ にぎわうま	地域の課題を自ら解決できるコミュニティをつくる	1事業	5,277万円
		港区からブランド性ある産業・文化を発信する	6事業	9億 1,237万円
		合計	7事業	9億 6,514万円
	Ⅲ はぐくむま	明日の港区を支える子どもたちを育む	11事業	85億 2,952万円
		生涯を通じた心ゆたかで健康な都心居住を支援する	21事業	22億 3,840万円
		合計	32事業	107億 6,791万円
地区版計画書	芝地区版計画書		11事業	5,202万円
	麻布地区版計画書		12事業	4,774万円
	赤坂地区版計画書		6事業	5,287万円
	高輪地区版計画書		11事業	5,035万円
	芝浦港南地区版計画書		9事業	4,612万円
	合計		49事業	2億 4,909万円
実現をめざして	基本構想に基づく諸施策の実効性を担保する		1事業	6,853万円
	行財政改革を推進する		5事業	3億 3,901万円
	合計		6事業	4億 754万円
総合計			128事業	186億 435万円

4 将来を見据えた財政運営

(1) 区財政の状況

内閣府の月例経済報告（平成22年1月）によると、「我が国の景気は、持ち直してきていますが、自律性に乏しく、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。」とされています。

また、政権交代に伴う国の政策転換の動きや、地域主権への取組み、税制改正の動向など、区財政を取り巻く今後の状況は極めて不透明なものとなっています。

区の現在の財政状況は、人口の増加に伴う特別区民税収入の増や、他の自治体に先駆けて実施してきた財政健全化の取組みなどにより、経常収支比率や財政健全化法に基づく健全化判断比率などの各財政指標は良好な数値を示しており、健全な状況を維持しています。

しかしながら、平成22年度予算においては歳入の根幹をなす特別区民税収入は、景気後退の影響を受け、減収となる見込みです。

区はこれまで、いかなる社会経済情勢においても港区ならではの質の高い行政サービスを安定的に提供できるよう、不断に行財政改革に取り組むとともに、計画的に基金を積み立ててきました。

厳しい社会経済情勢が続く中、21年度に続き、これまで蓄えてきた財政の力を活用して、緊急就労支援や区民の安全安心確保のための施策をはじめ、高齢者施策や子育て支援、環境対策などに取り組む、区民福祉の向上のための施策を積極的に推進します。

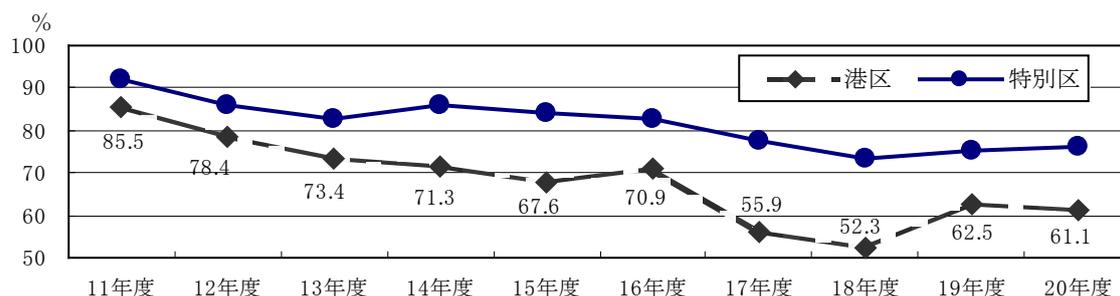
一方、先行き不透明な社会経済情勢を踏まえ、すべての事務事業について、根本に立ち返りあらためて必要性・効果性・効率性の観点から徹底した見直しを実施するとともに、人件費の圧縮や経常経費の節減等に積極的に取り組み、施設建設にあたっては、ライフサイクルコストを的確に分析した上で後年度負担にも十分配慮するなど、内部努力を徹底しました。

今後も、引き続き歳入の確保に努めるとともに、簡素で効率的な区政運営を行い、将来世代に過度な負担を残さない長期的視点に立った財政運営を行うことで、磐石な財政基盤を維持していきます。

○ 経常収支比率の推移

経常収支比率は財政の弾力性をあらわす指標であり、一般的に70～80%が適正な水準といわれていますが、この数値が低いほど弾力性があり、新たな区民ニーズに対応するための財源を確保することができます。

区の経常収支比率は、平成12年度から良好な状況を維持し続けています。



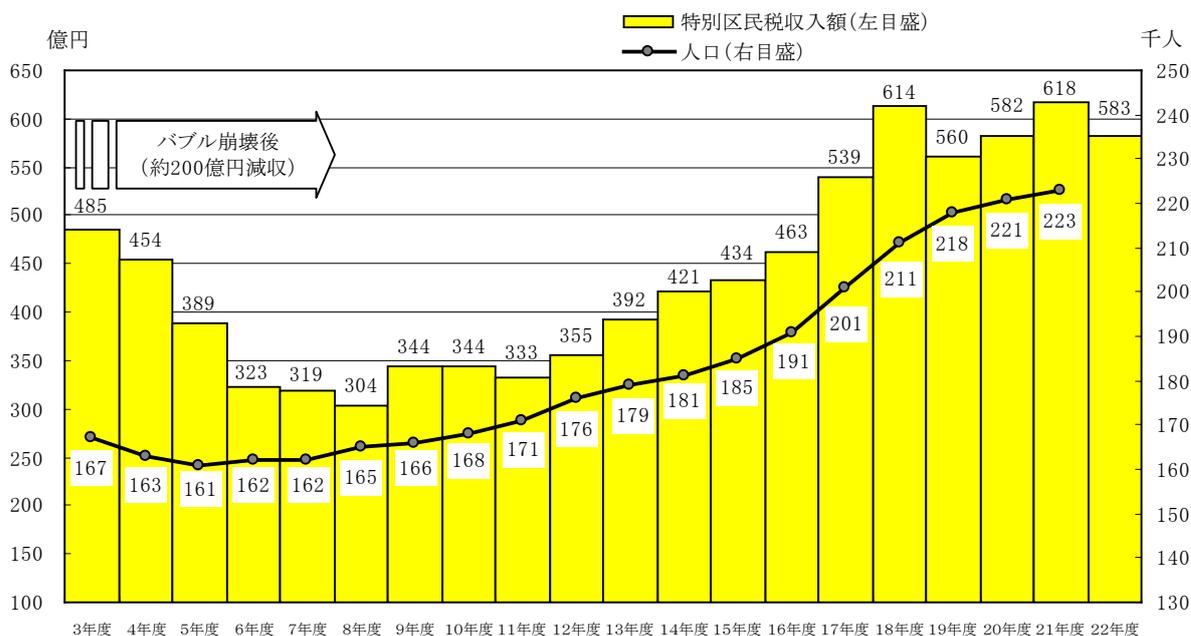
○ 特別区民税収入及び人口の推移

特別区民税収入は、国の三位一体改革に伴い減収となった平成 19 年度を除き、11 年度以降は、人口増に伴う納税義務者数の増等により増収を続けていました。

しかしながら、22 年度当初予算については、景気後退の影響を受け、21 年度当初予算と比較して 35 億円、5.6%の減収と見込みました。

区は、バブル崩壊後の3年度から8年度までの5年間で、特別区民税収入が約 200 億円、約 40%の減収となる未曾有の財政危機に直面しました。

特別区民税収入は、景気動向の影響を受けやすく不安定な性質を有していることから、今後の極めて不透明な景気の動向により、区財政は楽観できない状況です。



※特別区民税収入は、3～20 年度は決算額、21～22 年度は当初予算額です。

※人口は各年度末現在数で外国人登録者を含みます。21 年度は 22 年 1 月 1 日現在数です。

○ 今後の財政運営

区は、かつて歳入の根幹をなす特別区民税収入が、バブル崩壊後に急激な減収となる厳しい財政状況を経験しました。その際、区民の理解のもと、いち早く全庁を挙げて財政構造改革に取り組み、いかなる社会経済情勢にも的確に対応できるよう、財政健全化を進め、財政の力を蓄えてきました。

今後とも、港区財政運営方針に基づき、歳入の確保に努めるとともに、人件費の圧縮、経常経費の節減や事務事業の抜本的な見直しなど不断の行財政改革に取り組み、簡素で効率的な区政運営を行い、後年度負担にも十分配慮するなど長期的視点に立った財政運営を心がけ、磐石な財政基盤を維持していきます。

(2) 基金の有効活用

区財政は、景気後退の影響を受け、区の歳入の根幹をなす特別区民税が減収する見込みとなるなど、極めて先行き不透明な状況にあります。

その一方で、港区基本計画に計上している区民の安全・安心の確保などのための区有施設の整備の着実な推進はもとより、緊急就労支援、保育園待機児解消等の緊急課題などにも迅速に取り組んでいく必要があります。

いかなる社会経済情勢においても、未来を担う子どもたちをはじめとする区民のために、今まで計画的に蓄えてきた基金を活用し、区民福祉の向上のための施策を積極的に推進します。

○ 基金活用状況

区は、財政調整基金や特定目的基金を活用することによって、特別区民税収入の減収などによる財源不足を補い、芝浦小学校等の改築、子ども中高生プラザ等の建設などの未来を担う子どもたちのための施設整備や、区有施設の省エネルギー化等の環境対策などに積極的に取り組んでいきます。

その結果、平成22年度の基金繰入額は、港区基本計画における財政計画（21年度～26年度）の計上額43億円を上回る99億円となります。

<22年度基金活用状況>

区 分		基金充当事業	繰入額	
財 政 調 整 基 金		—	15億円	
特定目的基金	施設整備	教育施設整備基金	芝浦小学校等改築	29億円
		公共施設等整備基金	田町駅東口北地区公共公益施設整備、子ども中高生プラザ等建設など	17億円
	その他	定住促進基金	シティハイツ六本木等用地取得、電線類地中化整備、コミュニティバス運行	20億円
		震災対策基金	橋りょうの整備、夕風橋架替、建築物耐震改修等促進	6億円
		安全安心施設対策基金	公園維持管理、特定公共賃貸住宅維持管理、小学校施設改修、みなと清掃事務所維持管理など	5億円
		地球温暖化等対策基金	区有施設省エネルギー化、みなと区民の森づくり、クールルーフ推進、エコプラザ管理運営など	3億円
		その他の基金	奨学資金貸付、介護予防プロジェクト、通院支援サービス事業、文化芸術活動助成など	3億円
合 計			99億円	

※ 財政調整基金は、経済事情の著しい変動等による年度間の財源の著しい増減を調整し、長期的視点から財政の健全な運営を図ることを目的とする基金です。

財政調整基金の繰入れは、特別区民税収入の減収に伴う財政危機に対応するため6年度から9年度にかけて活用して以来、13年ぶりとなります。